



いけにえおんな

おにがみ

生贄女は孤独な鬼神様に 番交尾

つがいこうび

生贄女は孤独な鬼神様に
番交尾で随とされる

に随とされる



三年ほど
前から続く
日照と酷い飢饉
そして流行り病

大人たちは
言った

鬼神様が
お怒りなんだ
これ以上
人が死ねば
もうこの村は
終わりだ

最後に
供犠をしてから
もう何十年経つ？

生贄を捧げて
お怒りを
鎮めるしかない

だが
誰にする？

うちの孫は
ごめんだぞ

そんなの
どこだって
同じだ

…ああ
そうだ

ちようび
ころ

八重がいる
じゃないか

こんな話

このご時世
どこにだって
ありふれている

八重や
すまん、
すまんねえ…

変わって
やれるものなら
変わってやりたいが…

いいよ
じっちゃん
ばっちゃん

私が生贄になれば
みんなが
助かるんだしさ



貧しいのに
山の麓に
捨てられてた
私を拾った上に

今日まで育てて
くれた二人が
長生き出来るのなら
それでいい

だから本当に
気にしなくて
いいのに…



じっちゃん
ばっちゃん
泣いてたな…



鬼神がいるという
山の奥深くにある

昔の人が作った
お社と
大きなお屋敷



そこで私が
出会ったのは





誰だ？
お前

神様と見紛う程
美しい鬼だった

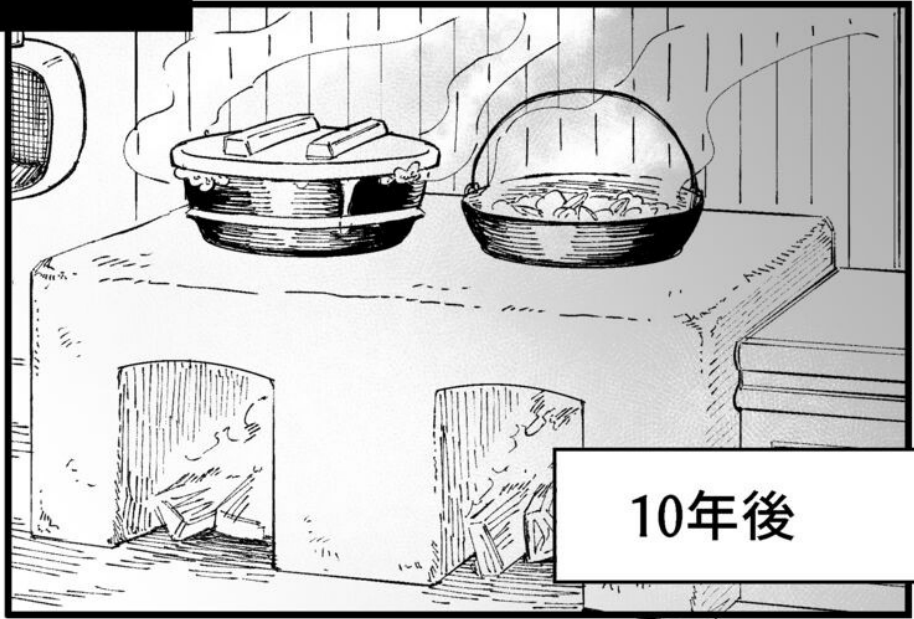


は？

本当に
鬼…？



魁！



10年後





すっかり八重は
大きくなったなあ



魁と
出会った
あの日

何故か運良く
気に入られた
私は

俺と契りを結ぶなら
生かしてやってもいい

え



願い通り
村も助けてやる

その代わり

俺と共に暮らし
身の回りの
世話をしろ

そんなの

あの日死ぬと
思っていた
私にとっては
渡りに船で



魁は
会った時より
年寄り臭く
なったよね

とげとげしさが
無くなった
というか…

えっ

そういうの
気になる年頃
なんだから
やめて？



ていうか
八重の分は？
ご飯

魁が
食べ終わって
からでいいよ

先に
片付け
しとく

あのさ



何回も
言ってるけど
そういうの無し

家族なんだから
一緒に食べよう



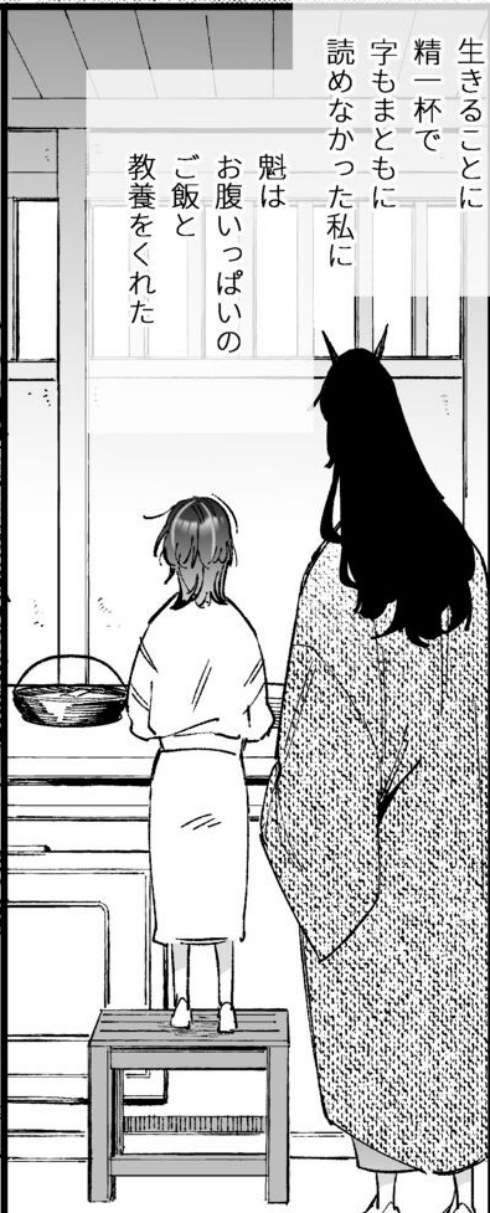
変態
おじさん

一緒に
住むように
なった後

はいはい



あゝ
…八重
ちよつと
太った？



生きることに
精一杯で
字もまともに
読めなかった私に

魁は
お腹いっぱい
のご飯と
教養をくれた



くたば
たぬ

身の回りの
世話とどうするか

ザンパーニ

なに一つ満足に
出来なかった

私相手に



ごめん
なさい...

別に
構わん



ここにはお前の
失敗を咎める
奴はいない

気に
するな

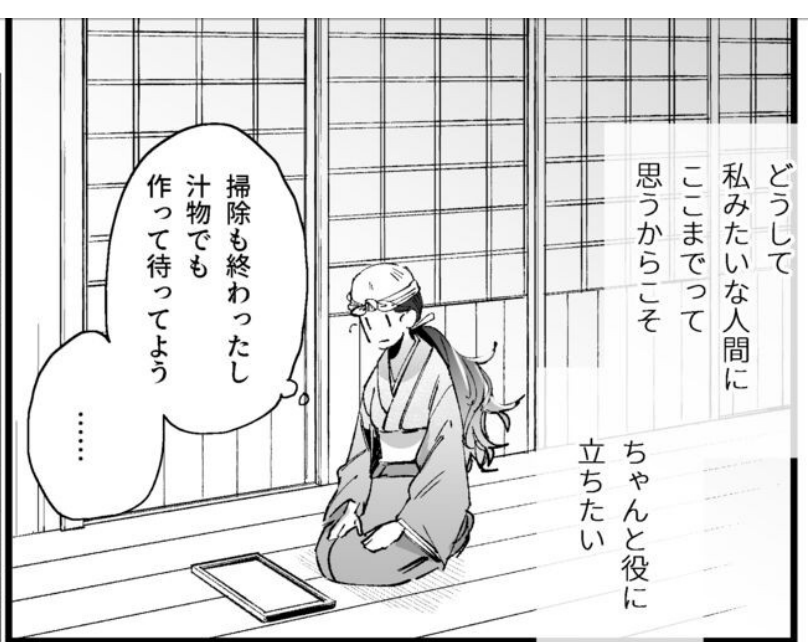


...こんなこと
言ってくれる人

村には誰も
いなかった



……そんなに太ったかな…?



掃除も終わったし汁物でも作って待ってよう

どうして私みたいな人間にここまでって思うからこそ

ちゃんと役に立ちたい



そう思っているのに



これお土産



ただいま

おかえり!



もう
子供じゃ
ないのに…

あれ？
嫌だった？
昔はあんなに
うれしそう
だったのに



いちご飴…



まあ
ありがたく
食べるけど！
おいしい…!!

ハハハ

おいしい…!!

喜んでもらえた
みたいで
良かったよ

すく〜うやって
甘やかして
くるから



…



昔から八重は
食べてる時が
一番かわいいから
ついつい
餌付けしたく
なるんだよね

魁のお土産が
私を太らせてる
気がする…



村だと
鬼は恐るしい
ものだから
教わったけど

むしろ



ふん
ん

コラコラ
そっちは
俺の布団

ボスッ



子供じゃないって
言ってたのにねえ？

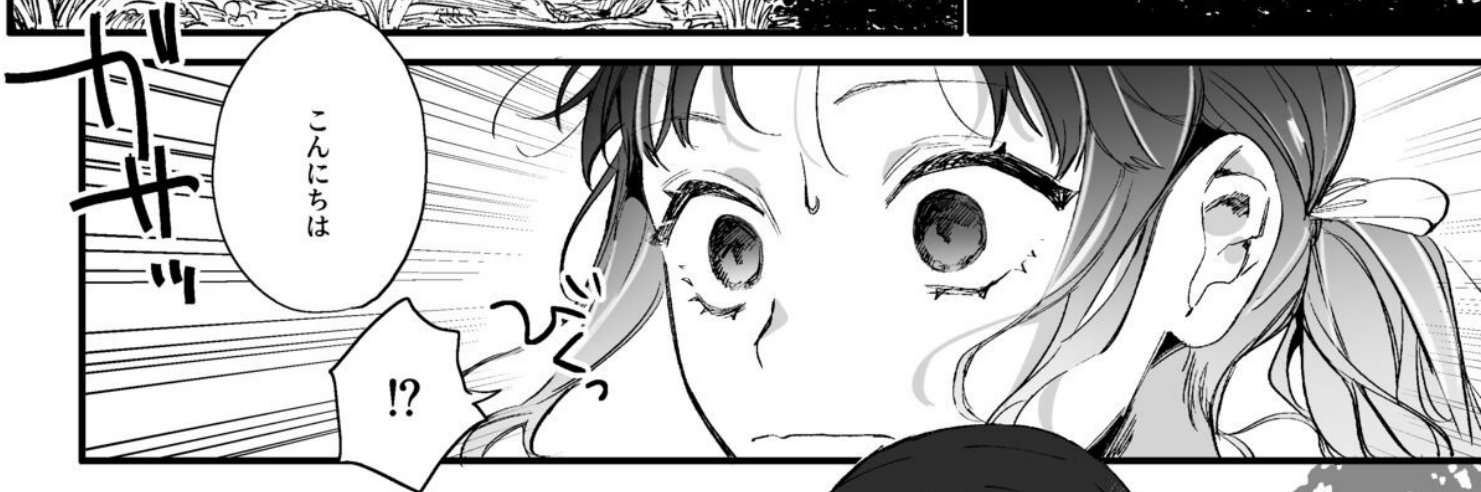
父ちゃんとか
兄ちゃんがいたら
こんな感じ
なのかなって

胸が
あつたかくなる

おなかいっぱい
ご飯が食べられて

あつたかい
場所で寝られる
生活なんて

昔じゃ
考えられない
よなあ



こんにちは

!?



なんで
ここに人が...?

もしかして
貴女は...

八重さん
ですか?

村だと絶対に
山に立ち入っちゃ
いけないって
教えられるのに

えっ...と...?



お会い
したかった！

!?:
!?:



先ほどは
いきなり
申し訳ない

私は
葛西武雄と
言う者です

自分探しの
ために各国を
漫遊しています

いい年で
恥ずかしい
ですが…

恥ずかしい
なんてそんな…



それぞれ
色々な風習や
考えがあって

見て回るのは
とても楽しい



今は麓の村で
お世話に
なっています

へえ…

私はこの村から
出たことすら
ないから

考えたことも
ない世界だ…

その際に
鬼と暮らして
いるという
貴女の噂を耳にして

是が非でも
お話をしたいと
思ったのです



まあ村の方々には
死ぬほど反対
されましたが…



他に面白い国は
あったんですか？

それはもう！
例えば…



…
くす



…貴女は

鬼と共に
生きることは
怖くないのですか？

え…？

全然！



すみや
もうこんな
時間だ

そろそろ
下山しなければ



……

八重さん



むしろ私なんか
ここまで優しく
してもらって
いいのかなって

そう思ってる
くらいで…



また
お会いしたい



貴女の
ような方は
初めてだ

沢山の国を
巡って
来ましたが



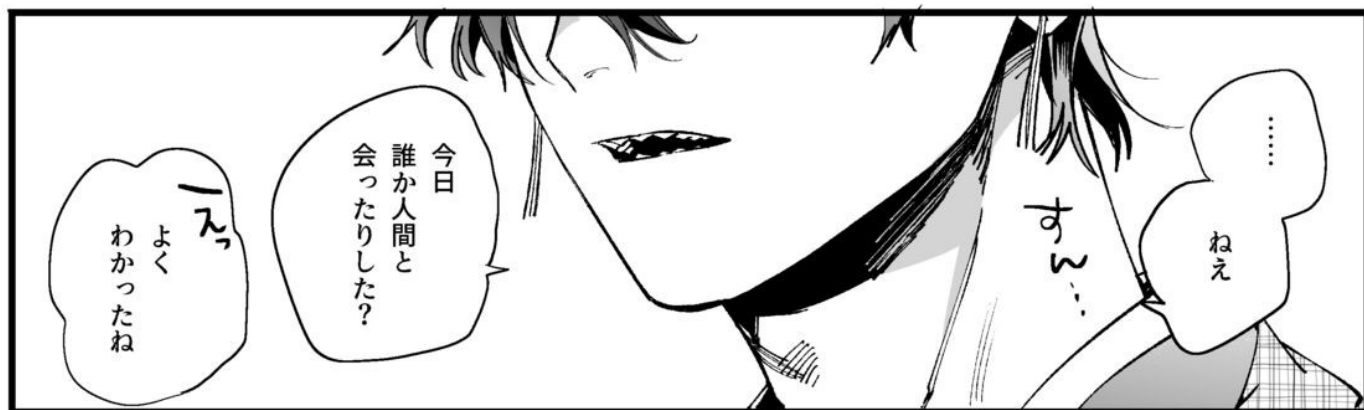
ちよつ…!!

これは他国では
ただの挨拶ですので
では!



なんだ
この人…

そっいえば
魁以外の
誰かに会ったのは
久しぶりだな…





…でも人間を
あまり信じたら
駄目だよ

特に八重は
優しいから

あとちゃんと
約束は守ること



うん…

い子

ポン

……?



そしてもう一つは
この山の外に
出ないこと

魁は村の皆を
良く思っ
ていないから

…お前に
不幸を
押し付けて



じゃあ
ご飯にしよう

魁とした
約束は二つ

一つは身の回りの
世話をすること



何もなかった
かのように笑って
過ごしている

昔から
人間はなにも
変わらん



村との繋がりが
苦しいのなら

俺が
断ち切って
やろうか？



お前が
そう言うなら
今は納得しよう

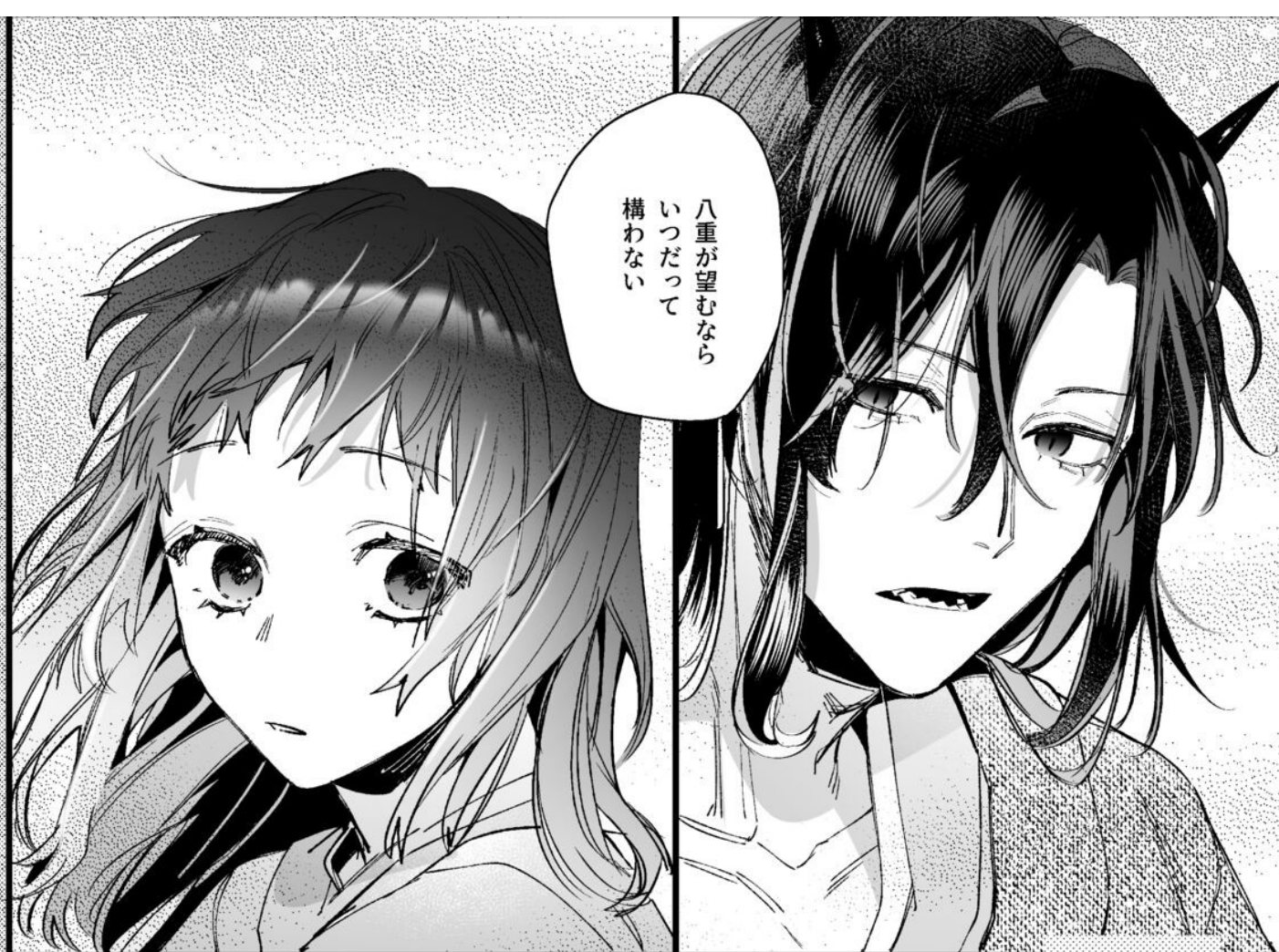
だが
忘れるな



大丈夫！
私が望んで
ここに来たから

...？

そうか...



八重が望むなら
いっだって
構わない



約束自体が
私の為を思ってるの
約束なのはわかってる



それでも慰は
私の気持ち
尊重してくれたから



……人間の
雄の臭い……



思った
以上に

気分が
悪いな……

それから
毎日あの人は
山に入ってきて

自分が見てきた
他国の話を
してくれた



流石に来すぎ
じゃない？

って魁に苦言を
呈されるくらい



まあ
確かに…

魁以外と話すのが
久しぶりだから
浮かれてたけど



嫌な思い
させたくないし
次からは
やんわり
断ろう



八重さん！

葛西さん

すみません
今日は
忙しいので…

違うんです





八重





毎日男と
逢引する
くらい

人間が
恋しくなった？

ちが…！



帰るよ

く
しい



俺から
逃げ出そうと
するなんて

許すわけ
ないだろう？

ビクッ

会って
いるのには
目を瞑ったが

キッ



ちょっと…っ

この
雰囲気

まるで
出会った頃みたい



私を育てて
くれた恩が
あるから！



お前…
なにを勘違い
している？

え…

あの時贄として
献上されたお前を

俺は確かに
貰い受けた

ならお前は
誰のモノだ？
言ってみろ

いたい…！



鬼を知って
今更
怖くなったか？



…かわいいそうに



俺の言うこと
だけを聞く
いい子でいたなら

ずっと優しい
ぬるま湯に
浸かって
いられたのにな？



じいっるる...

俺はお前のことを
手酷く扱いたいと
思っていたのに



毎日八重が
無防備に
微笑みかける度

やっ...!
やだ...



勝手に
腰が跳ねちゃう...

あっ
そこやだ
吸わないで、



八重

気持ちよくて
おかしく
なりそうな時は
イクと言え



いえない

何故?



あつ

なんか
へん、
きちやうつ

やだ…っ

はっ
はっ

はっ

あゝ
あゝ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ



はっ…

イク
はっ…♡

その優しい顔で
言われると

すっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

あ♡

あ♡



八重には
沢山のことを
教えてきたでしょ?

それと
何が違うの?

うう…っ

ふ

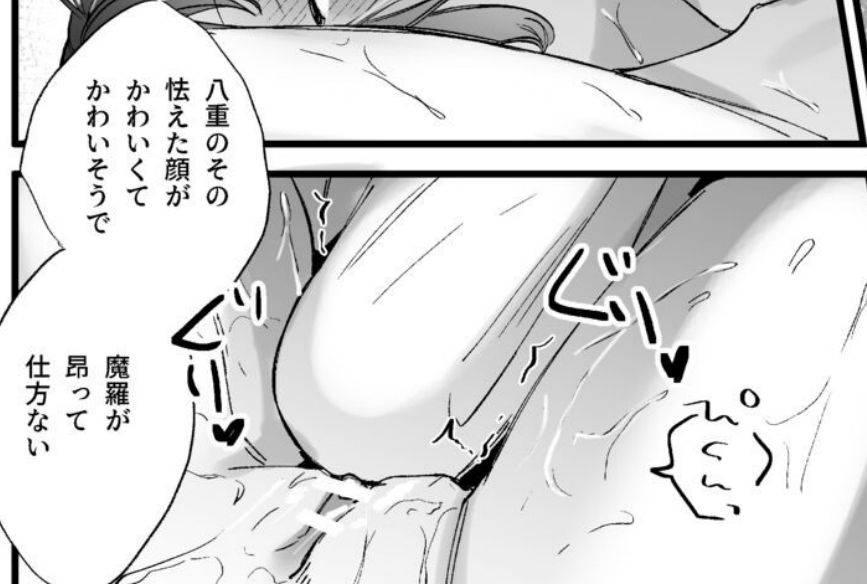


逆りえな...



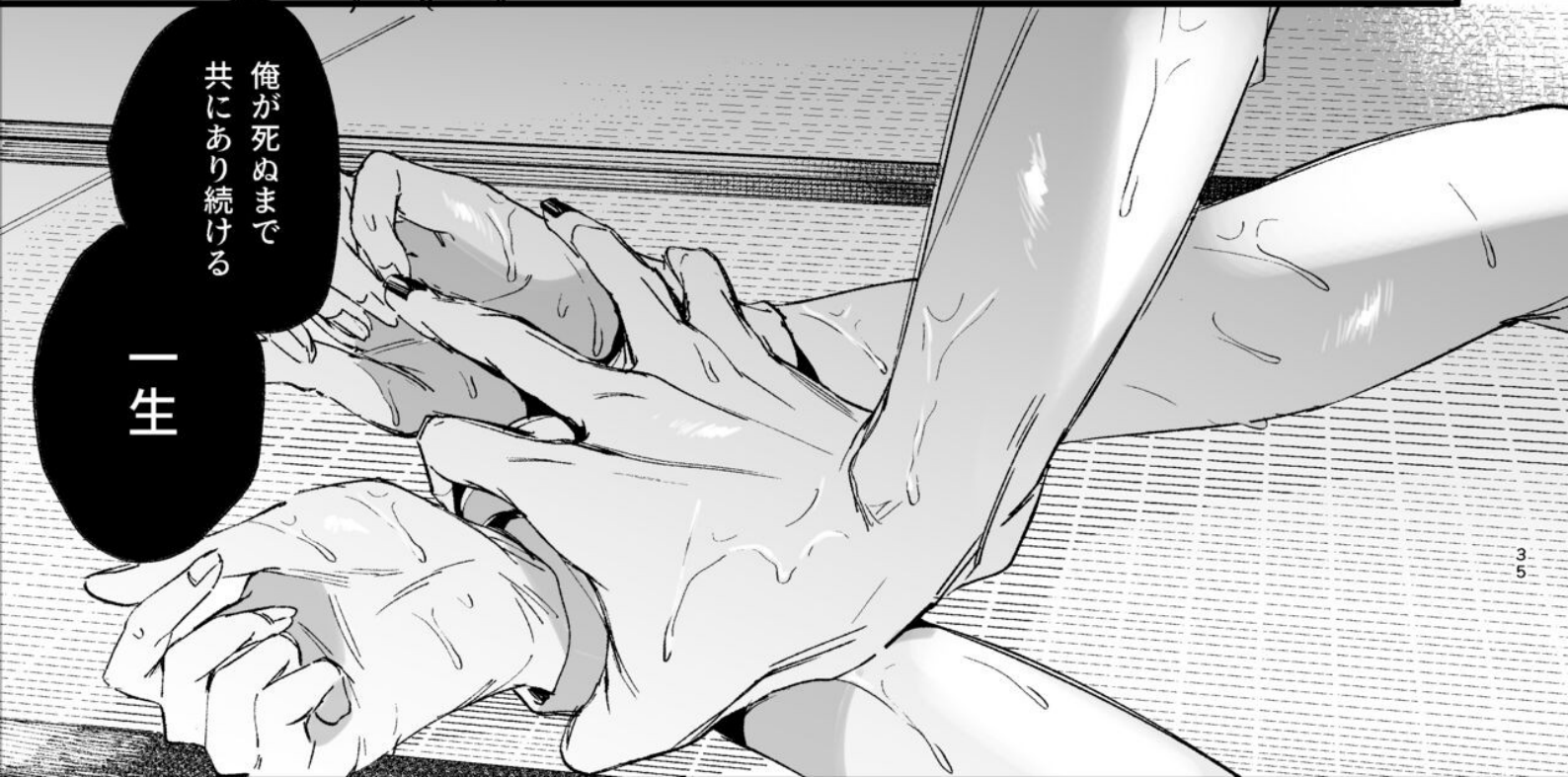
初めてなのに
潮まで吹くなんて

うそ



八重のその
怯えた顔が
かわいくて
かわいそうで

魔羅が
昂って
仕方ない





こんな魁
知らない
怖い

村のみんなが
恐れていた
鬼そのもので



魁…

そう言った
魁の顔は



…



このまま
一緒にいると
俺はいつか必ず
お前を喰うだろう



…もうさら
興が
削がれた

え…



…八重の
好きに
すればいい



好きに
言われても

これから
どうしたら
いいのかわからない



魁は
出会ってから
今まで

ああいう風に
無理を強いた
ことなんて
一度も無かった



頭の中
ぐちゃぐちゃで

魁の気持ちが
知りたい…

これ以上魁を
裏切るような
ことしたくない

でも、

お前親は
どうした？
捨てられたのか？

一緒に
来るか？
食べるものが
多いわけじゃ
ないが

八重は本当に
いい子だなあ

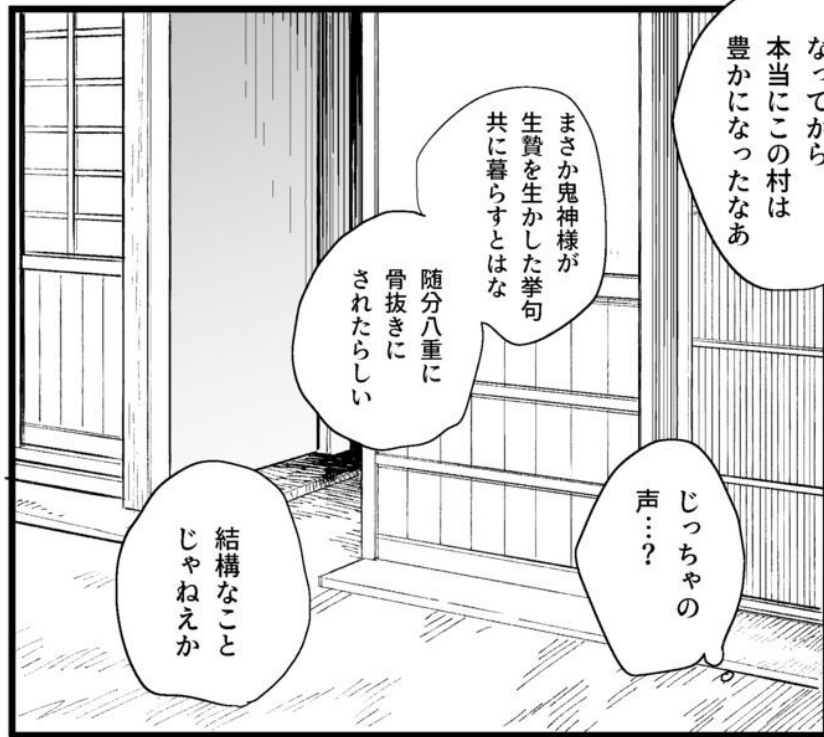
一緒に暮らせる
だけで幸せじゃ

最期かも
しれないん
ですよ

だっ

……









一人で山にいた
時からずっと
捨てられたまま
だったんだ…







お

鬼神様...!

魁...?

www





そんな八重に
言葉では言い難い
感情が芽生えるのは
すぐだったよ



それでも
八重が家族として
俺を慕っているのは
わかっていただけから
そう在ろうと
してきたけど…
やっぱり
無理だった



衝動に身を任せて
手籠めに
しようとする
ヤツなんかより

村に戻って
人として生きる方が
幾ばくか幸せかと
思おうとした

…でも
駄目だ
あんなに
酷いことをしたのに
どうしても八重を
手放したくない





だから
捨てないで...

もう私には
魁しか...



...そんなの、

こっちの
台詞だよ

こうやって
舌で先っぽ
こねた後

啜えて
転がして



今度は
こっち



すごいな...
どんだん
溢れてくるよ
一緒に
触るとどう...?



魁の指がすぼすぼ
ナカをかき回すたび

腰が勝手に
動いちゃう...♡

そんなに
へんげん
しちゃうくらゐ
きもちららら...



八重の
全部が欲しい



まって、
そんな
おっきいの
入らな…

大丈夫
八重の
大事なこと…

おまんこは
挿れて
欲しそうに
してるし

はーっ

はーっ

せき





ほらこも一緒に触ってあげる

そこやだっ

あはすっこい締め付け…♡

ならぐにぐにこねる方が好きかな

うき♡ あっ♡♡



あー♡♡

あー♡♡ あー♡♡

はっ♡♡

はっ♡♡





さっきから
腰浮いちゃ
ってるけど？

好きなだけ
イっていいよ

また
きちやう…♡

あーっ



あーすいすい
吸いっついてくる...♡



はぁ...
俺も



あー
このまき
出して...

え...



…自分が
なに言ってるか
わかってる？

前に教えたよね？
番になって
戻れなくなるって

おっぱい



それで
いいから…

はー



私は
魁だけで
いい

はー

はー



初めてだし
ゆっくり気持ちよく
なってもらおうと
思ってたけど

やめた

これは
八重が
俺のものに
なった印



魁……

もっと俺の種が
欲しいって泣いてる
胎のナカが
かわいそうだもんなあ？



八重の髪の毛
一本から
血の一滴まで
俺のモノなんだから
ちゃんと
残さず全部
喰ってやる



ほら
ここが
八重の子宮



腹の中を
かき回されて

そんなやらしい声
出しちゃうんだ





まだ
イけるでしょ？



ほら
もう一回
ほーら♡



魁のがナカを
突いて
イカされる度
私が作り替え
られているのが
わかる



たじろ

きもちい♡

30



八重がぐちゃぐちゃになつてるの

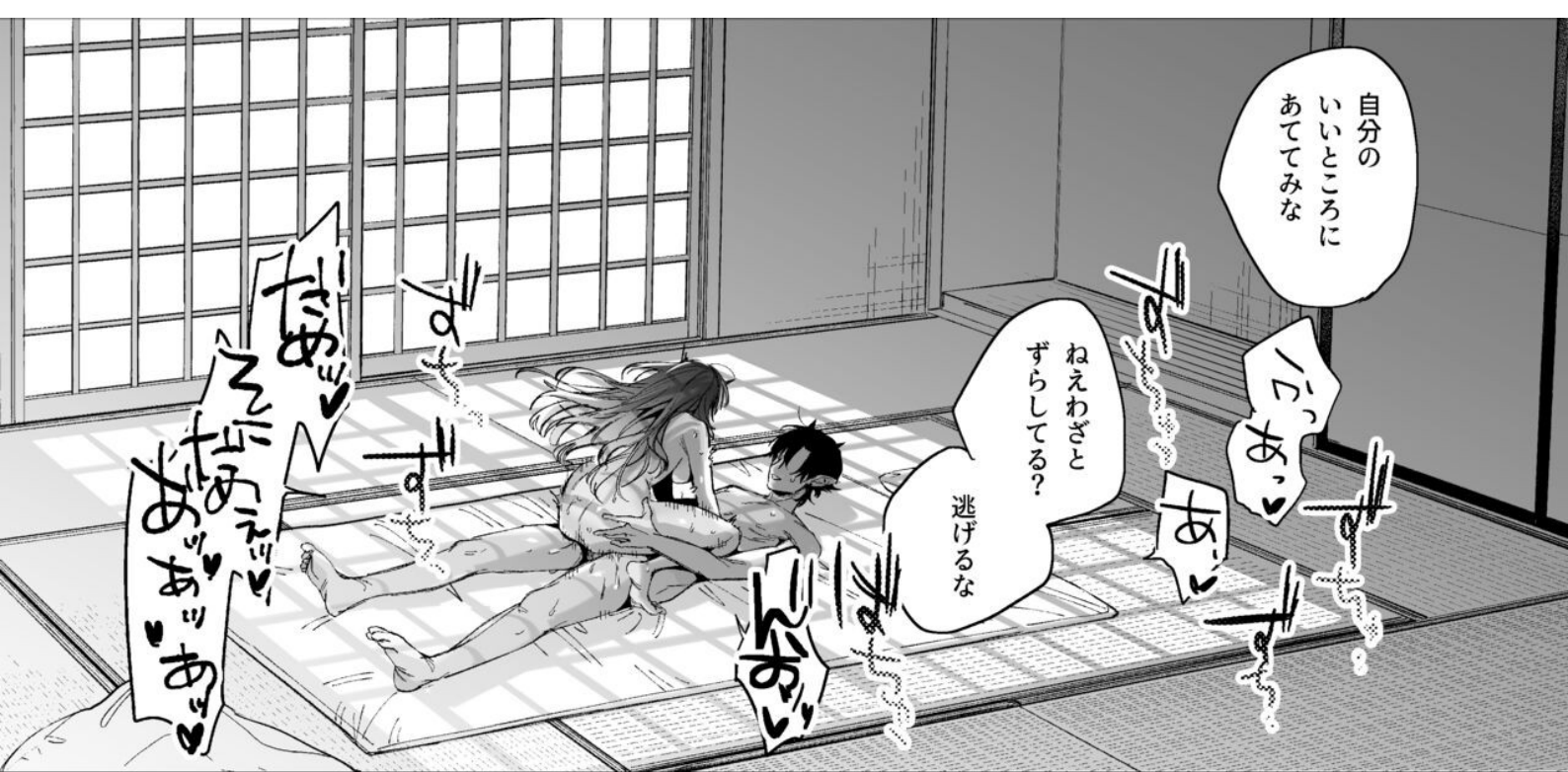
本当にたまらない…



もっと見せて…♡

捕食されてるみたい…

まろ



自分のいいところにあててみな

ねえわざとずらしてる?
逃げるな



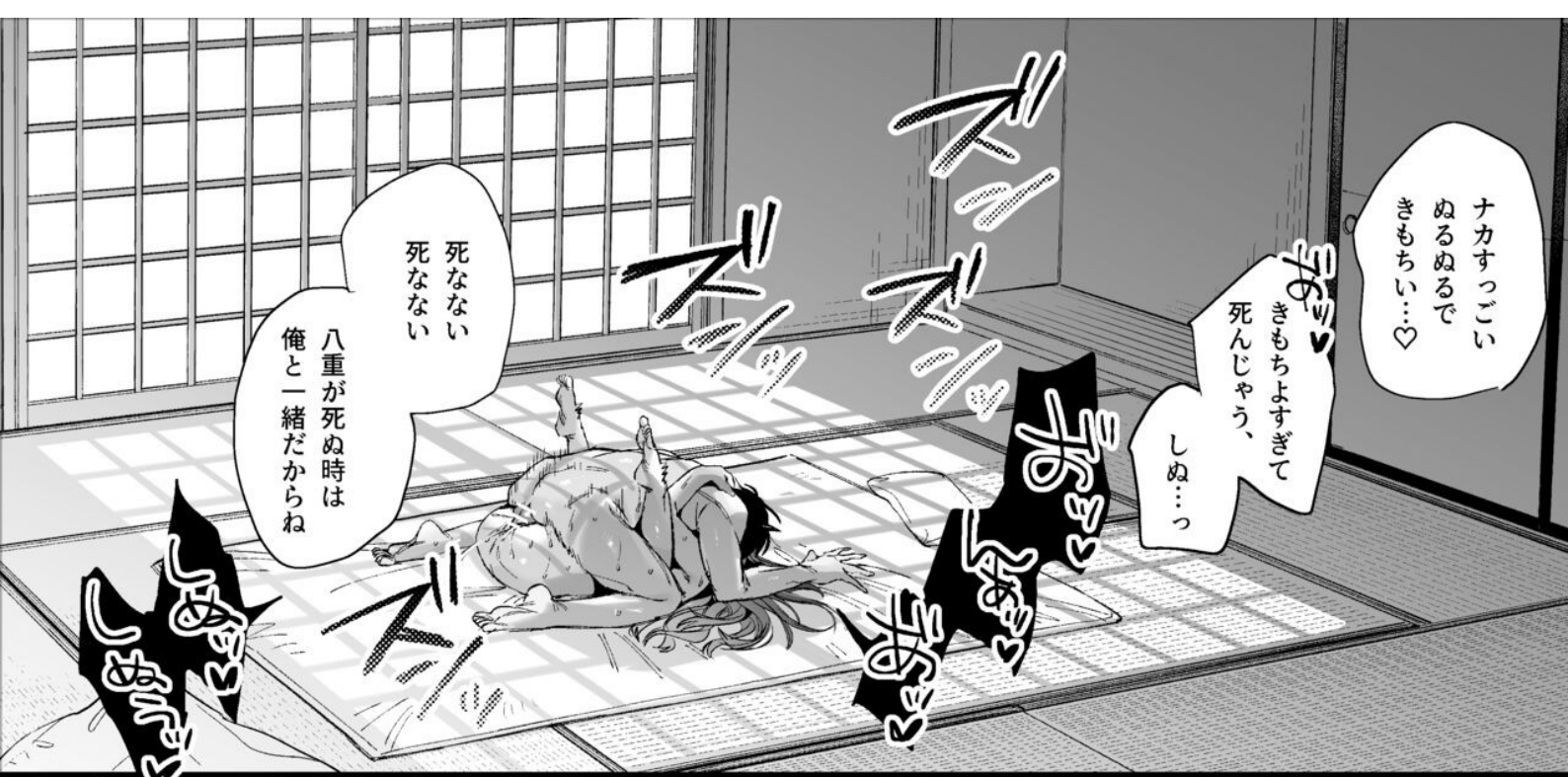
うそっまじっ♡
やさしくするっていったのに...♡

八重が煽ったんだろ?
お詫びにいいトコ突いてあげる



俺もおかしくなりそう...♡

あー...
部屋中にメスの匂いが充満して



ナカすっこいぬるぬるできもちい…♡

きもちよすぎて死んじゃう、しぬ…っ

死なない死なない

八重が死ぬ時は俺と一緒にだからね

きもちい…♡

きもちい…♡



お腹溶けちゃう♡

もうきもちいらのいらない…っ♡

もうやだ…っ

ごめんなき、

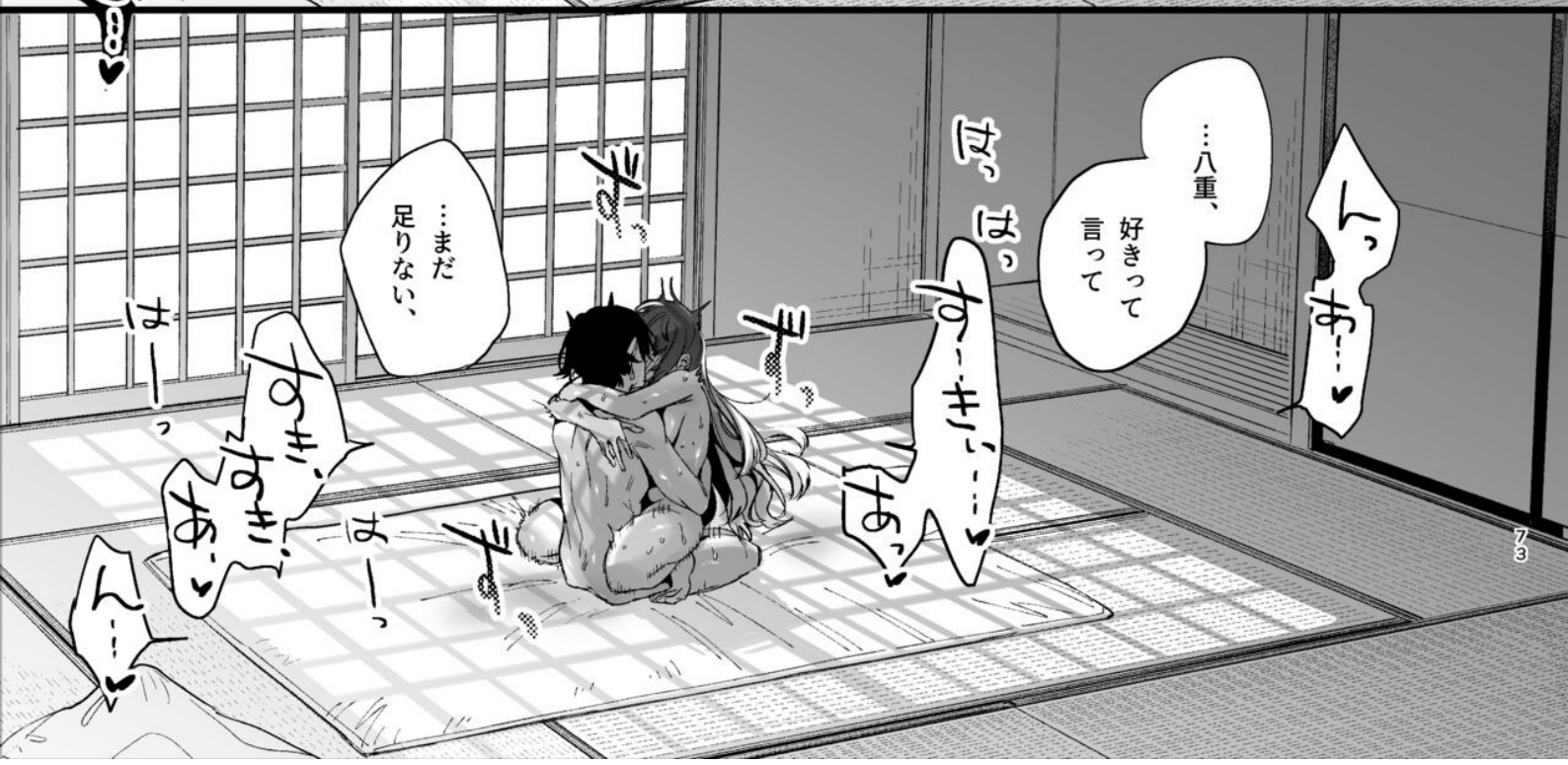
あははなに謝ってるの？

きもちよくて幸せでしょ？

きもちい…♡

きもちい…♡

きもちい…♡



…八重、好きって言うて

…まだ足りない、

きもちい…♡

きもちい…♡

きもちい…♡



勝手に使わせてもらってたから



…?



あ
お
ひ
ひ
ひ
ひ
ひ

起きた?



びしょぐちゃぐちゃ



八重が
気絶してる間も
いっぱい
出しちゃった

え
あつ



わかる？
八重

淫紋が濃く
なっちゃってるの

お腹が…っ♡

発情してるのが
まるわかりで
はずかしいね

おちゅ

おちゅ

おちゅ

おちゅ



あ！…
駄目だ！

本当に
喰って
しまふなら

こあれ、

おちゅ

おちゅ

おちゅ

おちゅ



魁の精液が
ナカに入る度に

ぐずぐずに
蕩けちゃって...

いっぱい出されて
そんなにうれしい？

たくさん
こすって欲しくて
お腹がうずく...



あーあ
淫紋交尾
癖になっちゃうね？

おっ♡♡♡♡♡
これ
しゅき♡

おっ♡♡♡♡♡

ぶっ、ぶっ、ぶっ

これから
八重はずっと
俺の子種がないと
生きてけない

ほら
もっと
発情して



本能で脳みそ
ぶっ飛ばして
きもちいいこと
だけ考えてよ



あー淫紋
効きすぎ
ちやった？

ホントに
飛んじゃってる…♡
かわいい♡



堕ちろ

堕ちろ♡

ふふ

やっと...

この手の中に
落ちてきて
くれた...

次ページから
おまけです

鬼は醜く
恐ろしく

産まれ落ちてから
死ぬまで
永遠に孤独だ

本当に
鬼？

神様みたいに
きれいだなって
思ってた

…なんだ
こいつは

白装束の
上からでもわかる
肉付きの悪さ
村でどういう扱いを
受けてきたのか
想像に難くない

そしてここに来た
というごとは
この娘もまた贅として
捧げられたんだろう



俺を産んだ土地に住み着いた挙句

勝手に神として崇め都合の悪い時のみ鬼のせいだとのたまう人間共

端から生贄に興味など無いが...



...なのに

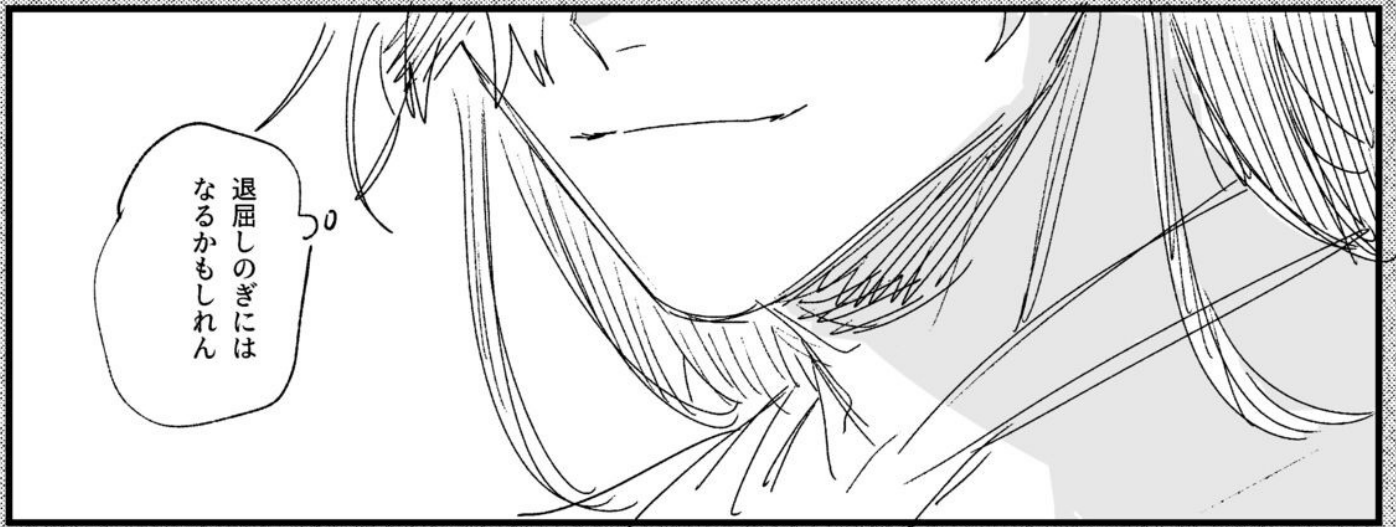
何故こうも負の感情が一切感じられない?

キヨ



このままだと間違いなく死ぬな

?



退屈しのぎにはなるかもしれん

...お前、

俺と契りを結ぶなら生かしてやってもいい

この瞬間はただの気まぐれだった

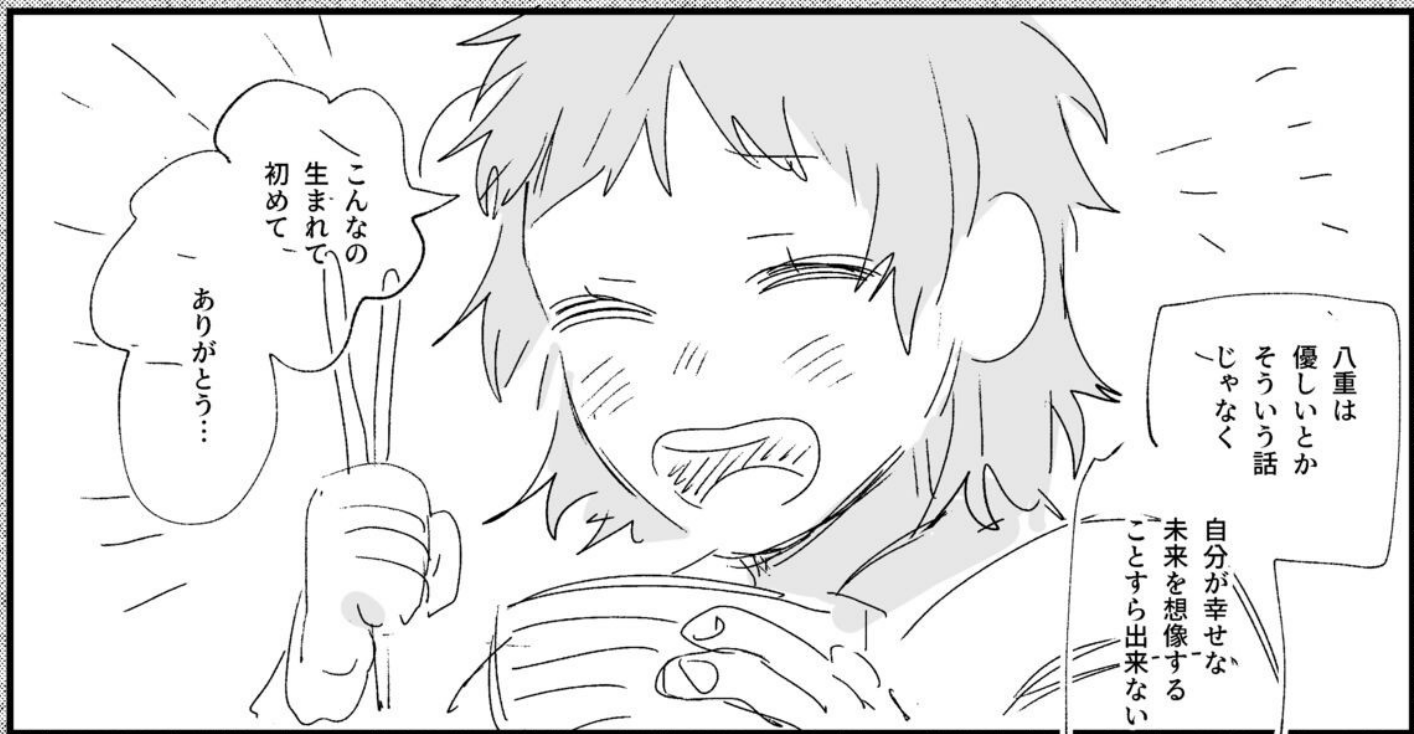


…好きに
すればいい

喜らじてみて
わかった



えっ
おかわり
していいの…?



こんなの
生まれて
初めて

ありがとう…

八重は
優しいとか
そういう話
じゃなく

自分が幸せな
未来を想像する
ことすら出来ない



ただ己に対して
鈍いだけの

哀れな
娘だ

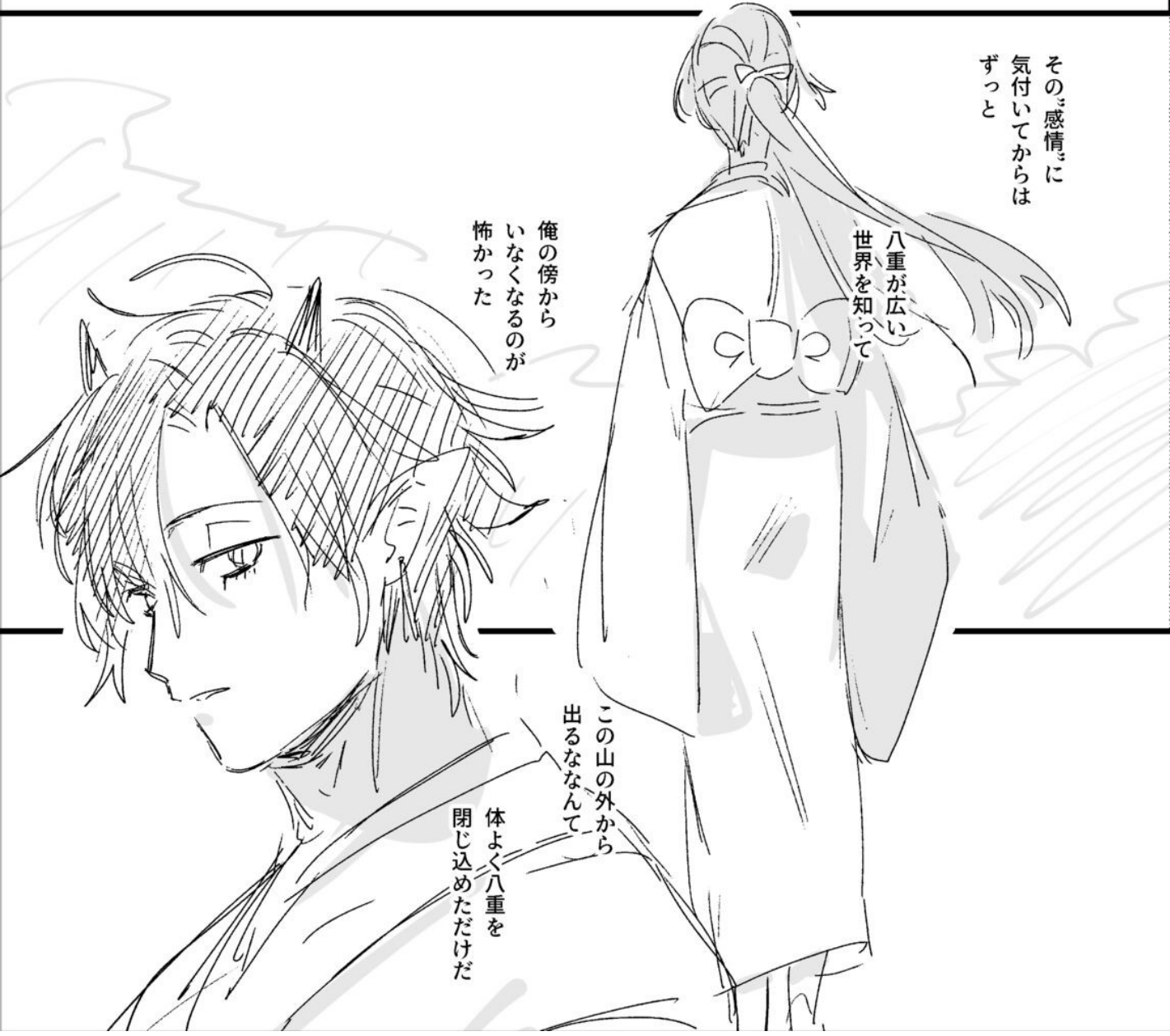
…俺と同じだ



…人間の子供は
甘いものを
好むんだっか…

八重はよく
こんなの
初めてだと
口にするが

それは八重
だけじゃない



その感情に
気付いてからは
ずっと

八重が広い
世界を知って

俺の傍から
いなくなるのが
怖かった

この山の外から
出るなんて

体よく八重を
閉じ込めただけだ

優しい世界に
閉じ込めて

いつか八重には
俺しかない
と理解出来るように



万が一のことを
考えて様子を
見に行ったら

まさか
その通りに
なるとはな

の



人間が
愚かなお陰で

八重を完璧に
手に入れる
ことが出来た

もう私には
魁しか...

だから
捨てないで...



自身が二度も
見捨てられた時は
ああも気丈な態度
だったのに

...あの顔、

たまらないな...



捨てられるかも
しれない恐怖から

俺への感情が
曖昧のまま
俺のものに
なってしまった



こんな鬼しか
信用出来ない
なんて

本当に
かわいそうで
愛おしい



あの村とも
ようやく
断ち切れる

…なあ
八重



八重が村に
戻ったあの時

お前が傷付くのを
わかった上で
見逃したと知ったら



お前は
泣くんだろうか…



魁

長い間一人で山に籠っていたら
いつの間にか人間に神と崇められていた。
今まで捧げられた人間は遠くに捨てていた。

基本的には人間嫌い。

鬼としての力がとても強く、神くらいなら余裕で殺せてしまう。

故に生まれてからずっと孤独だった。

八重と出会ってからは八重のために、が全てになる。

性格も口調も八重が好むであろうものに変えた。

本当の自分に気付かないで欲しいのに、

全部知って受け入れてほしい矛盾に10年苦しんだ。

八重が村に戻った時、村の人間が快く受け入れたら

人間の世界に戻してやろうという賭けをしていた。

八重と一緒に家事を覚えた結果、
今や出来ないことなんてない鬼界唯一の男



八重

幼い時に山に捨てられた。

時代だし仕方ないメンタルで特に腐ることなく生きてきたが、
生い立ちと環境で自分への幸せのハードルが死ぬほど低い。

(村の人から拾われ者扱いされてきたことが
本人にとって当たり前になっている)

魁と暮らすようになってからはちょっとだけ

わがままも言えるようになった(本人無自覚)

自己評価が最悪故に魁の自分への激重感情に全く気付かなかった。

その後八重の知らないところで一つの村が消え、

人間の世界との縁が切れた(物理的に)

たいていの家事は出来るようになったが、
いまだに魚を焼くのが苦手(魚がメインの時は魁が焼く)

梅ねぎ大明神

umenegiman@gmail.com

本作品は実在する人物、
団体とは一切関係ございません。
無断転載、複写、改変は禁止致します。

この漫画を当サークルに許可なくインターネット上に
アップロードはする行為は犯罪です。(著作権法23条)
10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、
またはその両方が同時に科せられます。(著作権法第119条第1項)
発見した場合は、すぐに法的措置をとります。

All rights reserved. Unauthorized duplication
is violation of applicable laws.

禁止私自轉載、加工

◉ 表紙ロゴ

UCHUgDesign / 日野かじお様

Purchase Made by HentaiOng.Com